

事業概要

- 所在地：吉岡町陣場 ～ 前橋市池端町
- 路線名：一般県道 南新井前橋線
- 事業内容：バイパス整備 延長1.1km 幅15.5m
- 全体事業費：約16億円
- 事業期間：平成24年度～令和3年度(10年間)
- 緊急輸送道路：該当(第1次緊急輸送道路)
- 開通前交通量(H27)：10,911台/日(現道\_自動車)  
：162人/12時間(現道\_歩行者)  
：980台/12時間(現道\_自転車)
- 実績交通量(R3)：7,887台/12時間(現道\_自動車)  
：5,227台/12時間(バイパス\_自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりました



- ・県や市町村の連携を強化することで、災害から早期に復旧できるようにしてほしい。(地域住民)
- ・防災拠点から被災地へ、迅速かつ円滑に移動できるようにしてほしい。(地元住民)
- ・駒寄スマートICが大型車対応になれば、渋川ICではなく駒寄スマートICを利用する。(道路利用者)

成果を示す項目	実施前	実施後
移動時間 (小倉工業団地～駒寄スマートIC)	約16分	約10分(6分短縮)
清野町交差点の渋滞長	150m	0m(150m短縮)

実施前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしていました。



実施後

◆バイパス整備により、交通渋滞を回避し、災害時にも機能する安全な通行空間を確保しました。



事業の進捗状況(R3年度完了)



今、何をしているか

令和3年度に2期工区が完成し、3期工区の開通とあわせて、高崎渋川線バイパス、駒寄スマートIC、上武道路がつながりました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了